

■「森と草原の地球教室」に参加して（学生スタッフ）

家をつくりあげる感動

教育福祉学部社会福学科 古川裕那

日本と違う文化に触れることができ、良い経験ができましたが、中でも子どもたちが木で家を作っている様子を見ていて、同じ材料を用いても家の形は様々で、それぞれにテーマがあり、工夫を凝らしていたところに驚き、何もなかった場所に家を作り上げた、というところに感動しました。自ら知恵を絞って自然の材料を生かし、何かを作り上げる力がある、そういう経験が持てる、というのは素晴らしいことだと思いました。

学生スタッフ 満足度 120%

外国語学部英米学科 神谷友里恵

『森と草原の地球教室』での2日間は私の中でとても良い思い出として残っています。10月29日は小屋作り、30日は楽器作りのお手伝いをさせていただきました。初対面の方と交流することに初めは戸惑いでしたが、作業の順序を説明したり係を割り振ったりするうちに自然なおしゃべりができるようになり、一緒に体を動かすうちに以前からの知り合いのように打ち解けることができました。共同作業がこれほど人と仲良くなるのに効くとは思っていませんでした。この体験はお金を得ること以上のものを与えてくれました。そして、それをこれからの人生に活かしていこうと思います。

万国共通の笑顔

外国語学部ヨーロッパ学科 竹内麻裕

民族や年齢、様々な違いを超えた、たくさんの人の素晴らしい笑顔を見ることができ、温かい気持ちになりました。また、展示された絵に込められた世界の子供たちの心のうちを読みとりながら返事のお手紙を書く作業では、言葉や文化は違えども自分が世界の一員として生き、誰とでもどこかで必ず繋がっていて、そこに目を向けることの大切さを実感しました。今後未来において、そんな子供たちと一緒に笑顔でいられるような世界を目指し、自分の役割を改めて考えさせられました。

自然との触れ合いを通して家族と交流

情報科学部情報システム学科 本多真大

イベントの2日間とも親子向けワークショップを担当しました。家造りにおいて、素直な子たちが多かったため、子どもたちでもできることを頼むことで遊び出す子がいないように働きかけました。出来上がる頃には、お母さん同士の会話や子ども同士が仲良さそうに遊ぶ等の家族間での交流も見え、よかったと思います。また、竹やヒノキをふんだんに使うことで、子どもたちが自然で遊ぶ楽しさを感じてくれたのではないかと思います。全体を通して、キャンプカウンセラーをやっていてよかったと思える2日間でした。ありがとうございました。

子供たちから学んだ「森と草原の地球教室」

外国語学部英米学科 當銘唯

子どもと触れ合う機会が少ない大学生活で、面白そうだと思い参加してみた森と草原の地球教室。私の役割はグループのリーダーとして子ども達をまとめることでした。しかし私の支持がなくても、子ども達はみんな力で合わせて小屋を作っていました。素直さ、探究心、協調性…。森と草原の地球教室で学んだことの多くは子ども達からでした。そして何より、みんなで最後まで楽しくやり遂げることができ、大学生活での貴重な体験になりました。



家族と一緒に学生スタッフも森の家づくりに参加